



とよおか

第 38 号

平成19年10月31日

# 議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷株



コスモス〈原産地メキシコ〉

遊休農地対策事業（中芝コスモス園）

## 9月定例会

9月定例会のようす（平成18年度決算認定）／請願・陳情	2～3
決算特別委員会の質疑から／広報研修会に参加して	4～6
予算特別委員会の質疑から／	7
一般質問のようす／議会活動報告	8～14
委員会だより／	15
「私の一言」／私がんばっています／編集後記	16



この議会だよりは、再生紙を使用しています



9月26日の敬老会より

# 9月定例会

— 18年度決算を認定(一般会計及び5特別会計) —

— 豊丘村特定公共賃貸住宅条例を可決 —

第三回定例会は、九月六日に開会し、同二十八日までの会期で行われ、十八年度一般会計決算など決算認定六件、条例制定案一件、補正予算案五件、人事案二件、請願・陳情五件の審査・審議を行い、すべての案件について、二十一日再会された本会議において、認定・同意・可決した。  
又、十四日に行われた一般質問には十二名の議員が立ち、熱の入ったやりとりになり、今回も時間延長となった。

## 決算認定 決算特別委員会に 付託審査

改選後初の決算審査となる今定例会、開会日の本会議に、決算特別委員会の設置を求める提案が、議員発議によりなされ、全会一致で、決算審査を決算特別委員会に於いて行うことを決議し、委員長に唐澤啓六社会文教委員長を、副委員長に川野孝子総務産建副委員長を選任した。  
審査は、分科会としての二つの常任委員会それぞれ二日間ずつ、そして特別委員会での二日間の延べ六日間行われた。

審査の中で、黒谷線中部・陣の坂線・的坂線の履行遅延に対する村の対応について、多くの議員から詳しい説明を求める意見が出された。

三つの工事箇所ともに理由はあるものの、契約工期三月十五日であったものが竣工日五月二十五日と大巾な遅れであった。

## 履行遅延に対し 村がとった措置

○今回の事由については遅延事由業者への注意のみとし、損害金は請求せず工事代金を支払った。

○業者選定委員会で指名選定の対応についても検討したが、今回は注意のみとした。

○十九年度より、入札条件に一括委任又は一括下請けは厳に禁止を条件とした。

○十九年度より、現場代理人の重複設置がないよう、工事カルテを作成・登録させることとした。

以上であるが、議会側からは、今後の対応について、村が厳しい姿勢で指導・チェックをするよう求めた。

その他各事業について、こまかい点まで多くの意見が出され審査がされ、再会日の本会議では、全会一致の認定に至った。

尚、決算特別委員会への傍聴者は一名だった。

# 十八年度決算

## 財政指数わずかに改善

十八年度決算にみる財政指数は、経常収支比率で七十二・九%と前年比〇・五ポイント、財政力指数で〇・三〇七と前年比〇・〇二二ポイント改善と、数値では現れている。

ただし、自主財源に乏しい豊丘村にあっては、依存財源、特に地方交付税の先行不透明・不安要素の多い中、今後確実な財政見通しと堅実な財政運営が益々求められる。

### 一般会計

#### 決算の概要

財政構造の弾力性の指数となる経常収支比率は、物件費・補助費の減少などにより七二・九%となっている。

#### 歳入決算額

三十六億五千五百三十三万円

#### 歳出決算額

三十三億四千九十三万円

#### 差引

三億一千四百四十万円

決算歳入は、前年対比八・五%減となったが、これは中学校本校舎改築に伴う地方債借入の減少が大きな要因で、地方交付税も二・六%の減となったが、総体的には順調な収入確保となった。

歳出は、基金積立金の減少や中学校本校舎改築事業の終了により、七・五%の減少となったが、まちづくり交付金事業に着手するなど事業推進が図られた。

#### ▼総務関係

CATVデジタル化整備事業 三億八千五百万円  
路線バス運業務委託 七百六十七万円

などの他、自らつくる交付金事業の創設やむらづくり委員会の設置など住民との協働によるソフト事業、又人口増定住対策にも積極的に取り組んだ。

#### ▼民生関係

老人福祉費 二億一千五百四十二万円  
障害者福祉費 八千八百八十八万六千円

#### 保育所費

一億五千八百一十一万三千元など総額で六億八千百十三万四千円となった。なお、児童手当は小学校六年生まで拡充された。

#### ▼保健衛生関係

清掃費 六千五百二十一万四千元  
各種検診事業 千八百七十二万八千元

などとともに、ゴミの分別・減量化への啓蒙活動、「健康とよおか21」に基づく健康指導などを行った。

#### ▼農林関係

松くい虫対策費 四千九百八十五万一千円  
有害鳥獣駆除対策費 八百九十一万二千元  
だいち運営管理費 二千二百五万三千元

の他、村単水路改修などの事業を実施した。

#### ▼土木関係

道路新設改良費 二億三千二十万四千元  
道路維持修繕費 六千二百二十五万九千元  
中平住宅団地造成事業費 五千六百七十三万七千円  
排水路の改修工事

五百五万一千円を実施した。

#### ▼消防関係

市ノ沢詰所・佐原詰所改築工事及び小型動力ポンプ付積載車更新など整備費 二千三百三十七万九千元  
飯田広域消防負担金 一億二百三十八千円

など

#### ▼教育関係

南小学校耐震補強・大規模改修関連事業費

一億五千九百二十万九千元

その他、社会教育では人材育成事業として比叡山延暦寺での座禅研修を行ったほか、生活リズム改善運動に取り組んだ。

#### ▲災害復旧関係

耕地災二箇所、林道災三箇所 公共土木災十六箇所、村単道路施設災十二箇所の復旧工事を行った。

などとなっているが、決算審査における質疑や意見などは、次の四ページから六ページに記載。

### 請願・陳情

- ◎「六カ所再処理工場の本格稼働に対し、その中止を求める意見書」の決議を求める請願…継続審査
- ◎「公共サービスの安易な民間解放に反対し国民生活の“安心安全”確立を求める意見書」提出に関する陳情…継続審査
- ◎高齢者の医療制度に関する請願…採択
- ◎長野県独自の30人規模学級の小・中全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願…採択
- ◎35人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願…採択

# 化など議論

## 補助負担金の運用も議論

十八年度決算は総務産建分科会、社会文教分科会にいったん付託され一日ずつ審議され、九月十八日・十九日の決算特別委員会で全体の審議を行いました。質疑のおもな内容です。

### 自らつくる交付金事業をよい方向での活用を

**丸岡議員** 自治体活動保険料があるが対象になったケースはあるか。周知徹底はしているか。  
**総務課長** ビーバー使用中二件、PRは各区長さんを通じてお知らせしてある。自治会長さんにはしていないのでこれからして行きたい。

**川野議員** 自らつくる交付金事業十八年度は三百万円。今年度は二百万に減った。自己負担の部分が大きいので使いにくいと思う。余ったらずぐに減らさないように。よりよい方向で活用できるように。

**総務課長** 申請されたもので、この制度でなくとも、他の制度でもっと有利な制度で運用したものもあるし、申請されたものはすべて審査している。

**東垣外議員** 安協の会費を隣組で集めているがこれは任意か。  
**村長** 村では集金のために便宜を図っているだけで、活動にも

関与はしていない。集金のさいにも任意であると記入されている。

### CATV事業ヘッドエンドを単独で設置

**唐澤議員** 有線事業の審議の前に村長から説明を。

**村長** CATV事業でヘッドエンド購入の際、協同で設置するかどうかという問題について、飯田ケーブルやあるいは近隣町村との協同設置について研究してきた。結果は豊丘の今までの音声放送、自主放送の体制や考えの違いから難しいと判断。ヘッドエンドについても実際に高森とも協議したが、当初の予想より値段が非常に安くなったというところ。それに関する工事費用。まちづくり交付金を使った事業として豊丘は行ったが、四十%対象だが、高森と共同でやるとその分は対象とならず、単独でやったほうが若干有利となること。ただし高森か豊丘で故障したときにはつなげればお互い補完はできること。それらの事が

ら単独設置を決めた。  
**壬生議員** 納税組合長手当てのここ数年の経緯はどうか。  
**総務課長** 隣組集金のときには一万円であった。ここ数年は五千円をお願いしていた。去年から世帯徴収から個別徴収に変わっ

たがどのような状況になるか読みづらかった。十九年度については四千円をお願いしている。税金関係は隣組で集金することはなくなった。名称も納税組合長手当てから、隣組長手当てへと変えた。



自らつくる地域づくり事業 小園の街路樹の補植

## 決算特別委員会の質疑より

# CATVデジタル

### 北ノ沢埋立て量減で 予定の十五年を越える 推移

片桐(秀)議員 ゴミの収集業者はどう選定しているのか。

産建課長 このような業務を行う業者を少なくして、村内の業者に引き続きお願いしている。

松村議員 十七年にくらべ十八年ゴミの量は減っているが、委託料は変わっていないがどうなっているか。

産建課長 経費の主なものは運搬料である、一運搬するのは量は減っても回数が変わらないので手間では同じなので、契約できまっている。

片桐(眞)議員 不法投棄連絡委員は何回出ているのか。村内に不法投棄が見受けられることがあるかどうか。

産建課長 連絡委員には、月二回たのんでいる。不法投棄があったら役場に連絡を欲しい。職員が行き確認する。誰が出したか確認し出した人に指導しなければならぬ。

前沢議員 役場駐車場にも弁当の食べたあとのゴミが捨ててある。夜駐車している大型車との話があるが指導は出来ないか。

総務課長 たぶんそうであると思われるが、現行犯でない限り

指導は出来ない。注意看板立てだけでは効き目がない。ゴミは目撃したら職員が片付けている。片桐(秀)議員 北の沢埋め立て処分場の状況はどうか。十五年計画だが。

### だいちがNPO法人 化 今後村との関連 どうなっていくのか

壬生議員 だいちが運営交付金をもらっている。NPO法人化で直接は関係ないが、個人団体で観光等で利用した場合の手数料などは公平な扱いか。

村長 公平である。観光協会に入っているか、そうでないかを取り扱いが違う。NPOであっても村では支出はしているの意見は言っている。

丸岡議員 だいちNPO化で、村との関係を明確に解りやすくしないと意見が言いにくいかどうか。

村長 理事の方も村とは関係ないと思っている。十分に気を付ける。

川野議員 だいちふれあい市などの賃金はどうなっているか。



北の沢埋立て処分場

産建課長 だいちの運営の中から賃金として出している。片桐(義)議員 有害鳥獣一般保険料について、駆除に出られる皆さんのものか。非常に危険をとまなう作業だが、保険の内容はどうか。

産建課長 作業の内容によつて保険料も違う。人数が多いほうが保険料は安くなる。壬生議員 きのこと山など鳥獣害の被害は区にも大変になっているし、山も守っていかなければならない何か対策できないか。村長 県にも相談はしている。とにかく個人数を減らさなければならぬ。知事もどこへ行ってもその話になると言う。自衛隊に訓練の一環として、対策をお願いすることも話に出ている。そういう事も考えて行かなければならない。

# 民生児童委員改選 十二月より新体制で 活動がスタート

片桐(義)議員 民生児童委員の改選にあたり、候補選出に男性の要望が出されていたが、何か問題が生じてのことか。

住民課長 傾向として女性選出がみられている。強要はしたわけではない。

菅沼議員 委員の活動状況などはどうか。

住民課長 任期は三年。プライバシーに関する面の仕事で大変な役目。人からの相談も多種多様となってきた。十七人で月一回程度委員会をもち、諸問題の解決に向けて協議している。

川野議員 タクシー料金が値上げされたが予算超過となると思われるがどうか。

住民課長 八月時点で二十八%越えているので予算超過になる。村長 会社との契約事項があるので情勢によって協議する。



川野議員 不妊治療者からの申請はないか。申請時の書類など関係者に知ってもらいたい。

住民課長 要項があるので利用してもらうことを考えたい。十月の公報に記載予定。保健師が対応している。

## 地産地消で学校給食 に使われているのは 地元産秋晴一〇〇%

片桐(義)議員 子供達には新鮮な野菜を食べてもらいたい。実態は熱湯処理後のものを食べている状態ですがほかの方法はないか。又、地元野菜を使うことはできないか。

教育長 出来るだけ使いたいが残念ながら、供給体制が無い。八百食作っていると調達面で間に合わない。葉物等の熱湯処理は何かあった時の事を考えて、保健所の指導に従っている。

菅沼議員 地産地消が言われる中で学校給食として取扱いされているものは何か。

教育長 地元豊丘産米の秋晴を100%使っている。

川野議員 給食の残飯処理はどのようになっているか。

教育長 ダンボール箱、小さなカップ、マヨネーズ等の空袋等は産業廃棄物として、残飯は生



中体連の様子

## 生徒の大会参加に 村としては精一杯の 支援

物処理としてそれぞれ二社に処理を委託している。

下平議員 小中学生が大会出場となった時の村としての応援に

対する予算的処置は出来ないか。

教育長 県大会とくに準ずる大会への参加は喜ばしい事です。スポーツによっていろいろなケ-

スがあり、それに係る人員もさまざまなで、応援体勢についてもモデルがないために学校としても廃品回収の収益金や父兄の皆さんの協力で今までは何とかやり繰りしてきた。

村長 予算の組み方が難しい。選手だけではないために苦慮してきた。公平性をどうするかが問題。相談していただき対応を考える方法で対処したい。村としてのルール作りが課題である。

### 町村議会広報 研修会に参加して

原 健治

国会議事堂の近くの会場で町村議会広報研修会が開催され、参加してきました。参加者は全国各地から五百人で驚きました。一日目の講義で「わかりやすい文章表現」情報時代に求められる自治体広報「美しい自然風景の撮り方」三人の女性講師によりそれぞれ演題の話があり、二日目の講義は「議会広報クリニック」十町村の議会、たよりを広報コンサルタント深沢徹さんによる批評とアドバイスがありました。写真は必ずしも関連するものでなくても良い。下には説明書きを付ける。議会の結果は賛成が何人、反対が何人かであるかを知らせる。「くです。くす。」は柔らかな記事になる。予算等は目で見てわかりやすく全体像が読みとれる円グラフ、棒グラフの活用が望ましい。万円表示とし、千円から一円の表示は無用。見出しは議案書通りに記載しない。などのアドバイスを受けた。参加し感じたことは私達の議会だよりも批評をして貰うと良いのではと思いました。「読みやすい・読みたい」と思わせる議会だよりの冊子」を心がけて議会だよりの編集に取り組んでまいります。

# 予算特別委員会の質疑から 「ほほえみ」増改築に議論集中

平成十九年度一般会計補正予算は四億百三十八万三千円が追加された。新型交付税の算定方法に議論が集中した。審議の主な内容は次の通りである。

## 宝くじの助成金で二つの区で事業を

**丸岡議員** コミュニティー事業の主体はどこで、何をするのか。総務課長 河野区と伴野区で、河野区は、鉄骨の防災倉庫で、伴野区は、祭りの用具である。

## 「ほほえみ」の増改築について

**片桐(秀)議員** 社協の積立金を村に返して増改築するという事だが今後、運営は安定しているのか。また今の状況は？  
**住民課長** 現在は安定した経営が行われている。今後も努力して維持していきたいと聞いている。

**副村長** 社会福祉協議会の運営基金のうち、村が関与して積み立てた分三千八百万円を村に返却して増改築にあてていくというものである。  
**唐澤議員** 平成十四年に社協か

ら村に返す話があったがご破算になった経過がある。

**片桐(秀)議員** 介護保険も競争原理がある。他の事業所は自分達で出していかなければならない。赤字になった場合も村で出すのか。

**村長** 今すぐ判断できない。その時の財政状況や周囲の運営状況で判断するのがよいと思う。

**丸岡議員** 建物は村の所有である。社協は、介護保険事業の部分は他の民間事業者と同じだが、村と共に福祉の一翼を担うという公共性も持っている。これを明確にしながらか判断すべきことと思う。

**唐澤議員** 社協での介護保険は一般と違うが役割があると思うので村の配慮は必要であると思う。

**片桐(秀)議員** 社協は公共性もあるが損益を追求している経営もある。お金がなくなったら村でというのではなく、経営責任をしっかりと見極めてやってほしい。

**東垣外議員** 建築費三千五百万円の予算という事だが、これ程

かけることはないと思う。残った場合はどうするのか。  
**村長** 設計等、つめの段階で内容を検討する。残りは村の福祉基金に積み立てる。

**川野議員** 改修期間中、通常の運営に支障はないのか。  
**住民課長** お風呂の改修部分もあるのですが、その時は「はつらつ」の風呂を使ったりする。

## 投票場の統合はどうか？

**壬生議員** 壬生沢と福島の投票場を、一つにする事はできないのか。

**議会事務局長** 区の方へ申し入れをしている所である。期日前投票も普及してきているので統合ができれば良い。

**松村議員** 要望であるが出口等段差がある場所にはバリアフリーの配慮をして頂きたい。

## がんばる地方応援プログラムで評価はうけたが…

**菅沼議員** 交付税の算定で、がんばる地方応援プログラムが評価され、県内で五番目だという事だが、具体的にはどのような

事か何う。

**総務課長** 行政改革、ごみ処理量、若年就業率、農業産出額、事業所数などが評価されて九千六百八十七万七千円の交付をうけた。しかし新型交付税分では二千八百万円減っている。十九年度の制度改正で、算出方法が人口と面積になったためである。

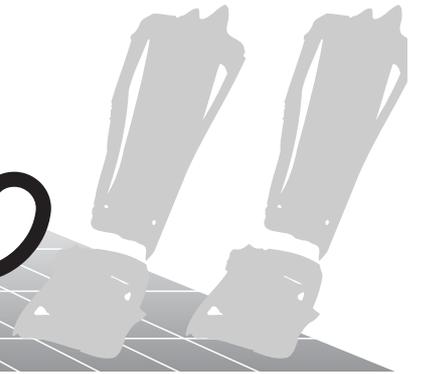
**松村議員** がんばる地方応援プログラムは単年度でもらえたりもらえなかったりするので、財政計画が立てにくい。

**唐澤議員** 新型交付税の影響は大きい。これは都市部に有利な算定方法で納得できない。村長の見解はどうか。

**村長** 交付税算定についての議論は不足している。地方が生きのびる事のできる財政的支援をしてもらうように、声を高めていきたい。



# しつもん



## 質 下水道の借金返済は

### 答 相当分の負担も大切

片 桐 秀 人

**質問** 豊丘村の下水道は十数年前に建設され、今は年間約二億円の元利金の返済をしている。この返済金は一般会計から支出されている。年間予算三〇億円の中から二億円(内、一億円は交付税措置)支出していくことは、村全体の財政に大きな影響を及ぼしている。松川町、高森町では使用料の中で一割程度を負担している。今、下水道料金審議会が開かれているが、こうした問題も諮問しているか。

**村長** やはりある程度は特別会計で負担することが大切だと思う、村全体が丸く収まることのできるような総合的な考え方で設定して行きたい。

**質問** 豊丘村の下水道使用料は、マクロ的に言って、県下で高い方が安い方か。

**産建課長** 還水では四十八団体中三十九位、農集排は六十団体中四十二位の順位である。

**質問** 合併浄化槽は月三五〇〇円の維持費を払っている。今後検査料が年五千円払うことになるが、浄化槽の方が割高になると思うが村長の考えは、

**村長** 料金審議会で審議頂く、議会でも議論頂ければ大変あり

がたいと思っている。  
**質問** 審議会委員全員が下水道区域になつていて、一般会計からの繰入金から見て、村全域の意見を聴取すべきではないか。  
**村長** 全体的に考えられる方をと考えるが、そうならなかった。  
**要望** 浄化槽は三六〇基、一人暮らしも多く、年金で支払っている、この辺の考慮も必要である。



河野農集排処理場

## 議会活動報告

七月〜九月

### ◎七月

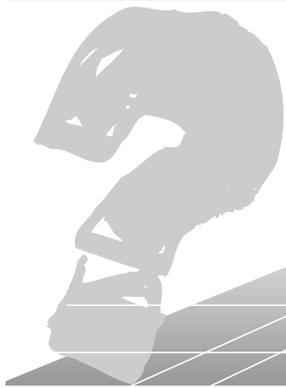
- 八日 天竜川河川敷清掃
- 十一日 議会、たより編集委員会
- 十三日 社会文教委員会
- 十八日 総務産建委員会
- 十九日 議会、たより編集委員会
- 二十五日 北部議会議員研修会
- 三十日 ボイス81地域会議
- 三十一日 定例全員協議会

### ◎八月

- 二日 町村議会議員長研修会
- 六日 広域連合あり方研究会
- 十日 社会文教委員会
- 二十一日 総務産建委員会
- 二十三日 広域連合正副議長会
- 二十七日 下伊那議長会総会
- 二十七日 議会運営委員会
- 二十九日 林業活性化議員連盟総会(下平委員長)
- 二十九日 全国町村議会広報研究会(原議員)
- 三十日 北部ブロック正副議長、事務局長会議
- 三十一日 全員協議会

### ◎九月

- 二日 地震総合防災訓練
- 六日 第三回定例会 開会
- 七日 議会、たより編集委員会
- 七日 全員協議会



# いっぱん

## 質 今後の合併についての考えは 答 北部五ヶ町村が望ましい

川 野 孝 子

**質問** 合併についての村長の考えは、北部五ヶ町村で進めるのが望ましいと表明しているが、今任期中にも取り組みをされるのか。

**村長** これからの時代、やはり北部五ヶ町村の合併は必要になってくると思う。今任期中の取り組みについては北部の町村の住民の皆さんの考えの違いもあり、豊丘村についても住民意識が変わ

り、ある程度の方向が出れば取り組みも出来るが、今の時期むずかしいと思う。

**質問** 合併の時期を十年をメドと発言しているがその根拠は。

**村長** 国でいう道州制の問題がやはり十年をメドと言われている。財政状況や、若い年齢層が都市に流れている人口の階層問題等を考慮すると、やはり十年がメドかなと考える。



鳥の被害も深刻

### 有害鳥獣 対策について

**質問** 有害鳥獣の被害は日々深刻である。今回特に私は鳥の被害に対する防除対策について聞きたい。鳥の被害に対する補助支援策はあるのか。

**村長** 鳥の防除対策で効果があると言われているのが高周波のパワーガードというのがある。

補助制度については、元気農業あたりで、共同で設置するという広範囲の成果がある計画が出てくれば、その事業が認定されるのではないかと期待をしている。



◆下伊那北部ブロック町村議会では、九月二十七日に関係五町村の正副議長による県知事、県議会議長並びに各常任委員長への陳情を行いました。『天竜川架橋の早期実現について』他十二項目の陳情を行った結果、知事からは「町村とともに考えていきたい」との好意的な返答がありました。とりわけ、天竜川の架橋問題については「まずは調査を実施したい」との回答が得られました。

- 十日 社会文教委員会
- 十一日 総務産建委員会  
社会文教委員会
- 十二日 総務産建委員会
- 十三日 予算特別委員会
- 十四日 一般質問  
議会運営委員会
- 十六日 南・北保育所運動会
- 十八日 決算特別委員会
- 十九日 決算特別委員会
- 二十一日 第三回定例会 再開  
全員協議会
- 二十二日 南・北小学校運動会
- 二十四日 高森町五十周年記念式典（議長）
- 二十五日 県町村議会議長会
- 二十六日 敬老会
- 二十七日 北部ブロック県陳情
- 三十日 中央保育所運動会

質 放課後子供教室を加える考えは

答 児童クラブだけでよい

片 桐 眞理子

質問 放課後の過ごし方は、今、村で行っている厚労省の進めている児童クラブと、文科省で今年、創設した地域の力を活用した放課後子供教室という取り組みがある。長野県ではこの両事業を放課後子供プランとして総合的な対策として支援を行っていくという事である。喬木村では今年から両事業に取り組んでいて、地域の人材の確保に課題はあるが、子供達には人気があると聞いている。この取り組みを通して地域の力や協働の意識を高めるためにも必要な事だと思いがどのように考えるか。

村長 今の豊丘村の児童クラブの実態、規模からみて、今のままでよいのではと思う。これからのより良い方向を考えていきたいと思う。

キャリア教育について

質問 望ましい勤労観、職に対する知識や技能などを育てる教室をキャリア教育と言われているがその柱として中学校における職場体験がある。総合学習を活用して推進していると思うが現状と課題について伺う。



神稲(伴野)児童クラブ

教育長 農業体験、施設訪問、企業などへの職場体験を行っている。総合学習の時間は百時間ちよつとあるが、時間の割りふりには大変苦労している。また企業の受け入れ先をきめるのも、お互いの都合もありむずかしい問題である。しかし本当のキャリア教育の先生は家庭での親の姿勢であり近所のおじさんおばさんであると思う。

質 農業体験学習をせめて一日に延長を

答 総合学習配分の中で可能である

菅 沼 敏

質問 豊丘村のなし、りんごは全国でいち早く市場へ出荷される。この栽培のなか中学生による農業体験学習が学校の要請でJAの指導のもと約六〇戸の農家が摘果や摘花作業を受入れて来た。農家は子供達に農業の現況や栽培の苦労や喜びを語り自然の中で交流を深め勤労の意義が体得できるよい機会であり、農家も大助かりである。しかし乍ら体験学習は午後三時間半の短時間ゆえ勤労学習が出来るか疑問である。せめて一日間への延長はできないのか。

教育長 キャリア教育を考える中で農業体験は大切な地位を占めている。総合学習時間の力点はどこへ置いか配分の中で可能である。

質問 先に夏季巡回ラジオ体操が豊丘村から全国へ発信されたことは村にとって名誉のことであった。これを機会に村民の健康管理の一助としてラジオ体操の励行を計り医療費抑制に継げられないか。

住民課長 自分にあつた運動を継続的に行う事が健康増進に継がると考えている。



中学生の農業体験学習

質問 あの日の有線TVを観て生徒等の動作をどう思われたか。

教育長 ラジオ体操を教える事はないが、これを機に見直したい気持ちを強くもっている。

質問 村民運動広場を有機的に利用し且つ恒久的見地から駐車場の増設が望まれるが考えは。

教育委員会事務局長 現地調査をする中でアスレチックへ登る道路沿いに十台程度の造成を考えている。

質 天竜川架橋の進展状況は

答 県の中期総合計画への盛り込みを要望中

原 健 治

遊休農地解消に協力する団体に  
支援補助を

止まったままの道路工事見直しは。

質問 農業従事者の高齢化、後継者不足により遊休農地が増え続けてきている。遊休農地解消に協力し、農地を耕作する各種団体に支援補助金を新設して多くの協力してもらおう団体発掘をしたらどうか。  
村長 効果のありそうな支援策を前向きに考えていきたい。

質問 田村の新道の拡幅工事の今後の見直しはどうか。  
村長 交通安全対策にかかわる国の事業で県が取り組みをしている。当初予定より遅れ二十二年度になりそう。  
質問 河野新田横断線拡幅工事は土地確保されたまま何年も経過しているが工事着工の見直しは。



要望強い天竜川架橋（八王子沖）

村長 天竜川架橋へのめどがついた段階で工事を考えているが架橋建設が長びく場合は工事着手を考える。  
質問 天竜川架橋について早急に実現できるように一層の努力が必要と考える。県への働きかけと高森側の状況は。  
村長 大型店進出の話があり高森町として譲っていたり、また地主の皆さんにお願いしていただいている。県建設事務所に県議、河野山吹の区長、首長、担当課長が出向いてお願いした。又、県の中期総合計画への盛り込みを要望し、お願いをした。

質 高齢者医療制度は改善が必要

答 医療の保障はしていきたい

唐 澤 啓 六

質問 来年四月から七十五歳以上の高齢者を対象とした「後期高齢者医療制度」が発足する。

この制度は、全ての高齢者から月平均六千二百円の保険料負担を求めると共に、保険料を一年以上滞納すると被保険者証が取り上げられ、病院の窓口で医療費を全額支払うこととなる。（資格証明書の発行）又、診療報酬が他の医療保険と別建てとなり、必要な医療が受けられなくなる。（包括払い制）

している中で、日常生活に不安と不便を感じているケースも多くなりつつある。安心して暮らせる高齢者共同住宅の建設を検討すべきと考えるが。  
村長 一人暮らしになっても、自宅への愛着から住み慣れた家が一番という考えが調査の中で多い。今後必要性が生じた時点で考えていく。

①この制度に対する基本的な見解は、②資格証明書の発行は行うべきではないと考えるが、③診療報酬の包括払い制についての見解は。  
村長 ①広域で運営されるので財政が強化され、安定的な運営がされる。又高齢者と若い方の給付と負担の明確化という観点から必要である。②今の段階では資格証を発行しない形で医療を保障していきたい。③重複診療を抑制する等良い面もあり、一概に賛否は言えない。

高齢者向け共同住宅の建設を

質問 高齢化の進展と共に、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加



『はつらつ』でのひととき

質 医師確保、村も声を大にして

答 これからも、努力していく

東 垣 外 厚

質問 お医者さんが少ない、特に田舎に少ない、「安心して子供を産み育てられる村」を標榜する、豊丘村としては、ここで大きな声で各方面へ、医学部の新設、増設や、医師の増加を訴えて欲しいがどうでしょう。

質問 私に慣れていないのかも知れませんが、役場の会計は、あっち飛びこっち飛びで、わかりにくく決算委員会で、又限られた時間の中で隔々まで見ることは無理がある。監査委員は、数字を中心に、決算委員は収支の整合性をみる為、現在二名の監査委員を五名から七名程度にしてほしい。

村長 村の予算規模から見て二名で充分と思う。

要望 その他、児童クラブについては建物の整備のみならず、心のケアにも十分な配慮を願いたい。安協の会費、公民館の分館費、赤い羽根募金など、半ば強制的に集めたり、集金の方法に問題はないか。村政懇談会に出てきて発言してほしい。旧役場跡地の利用は慎重にしてほしい。等質問やらお願い、呼びかけ、アピールをさせて頂きました。

質 住宅対策の公益性をどう判断

答 交通や医療、企業誘致とほぼ同じ

丸 岡 茂

質問 人口増対策の「おいでなんしょ」プランから一年。実績と評価はいかがか。

村長 土地取得助成金等の件数は若干だが、今後の伸びを期待。

質問 今後の住宅対策は、方法や場所をどう決めていくのか。

村長 専門的な意見や需要を見ながら、場所は区長会とも相談していきたい。

質問 住民の要望やこれまでの地域での研究を尊重された。今年度の戸建て賃貸住宅は、受益者の負担軽減に投入される公費が多く疑問がある。

村長 長期的には回収する。総務課長 国の交付金もあり、一般財源分は概ね回収できる。

質問 資料によればそれは困難だし、村が負担する理屈になる多額の利息等は除いて計算されているのではないか。大事なのは交付金も税金である事。住民の視点も気にかけてほしい。

公費の支出は、基本的には公益性の判断の中で行われるべき。人口増対策を政策として進める上で、条件整備等の面で相応の公費の投入は当然。しか

し一般行政や、例えば多面的公益機能をもつ農業への補助や、雇用の創出や地域経済に貢献が期待される企業誘致等と、個人の住居という側面も持つ住宅対策を同一視する意見には疑問を持つが、どのように判断されるか。

村長 考え方や価値観はいろいろある。交通対策や医療、産業、企業誘致等とほぼ同じと考えてよいのではないか。要望 人口増対策の円滑な継続のため、熟慮を願いたい。



戸建て賃貸住宅建築予定地の水田 (山田)



村政懇談会 (伴野)

質 燃やすゴミ袋の出し方の改善を

答 北部ブロックで決めているので

前 沢 光 昭

質問 燃やすゴミの袋については、一袋につき手数料六十円、袋代そのものとして二十二円から二十四円、一枚当たり八十二円から八十四円の値段です。

実際には、一セット十枚販売ですから買うときには八百二十円から八百四十円です。この袋は紙袋のため非常に破けやすく、角のあるものを上から押し込んだり、つめたりするとすぐに破ける。袋の値段が高いのでどうしても詰め込みます。この袋は県下でも一番高く、入る容量は一番小さい。さらに頭をしぼって出せとの村からの指示で

なおさら入る量は少なくなる。村内からも近隣町村の住民からもあまり評判はよくない。村長の考えと、ゴミ袋の出し方を北部衛生組合で改善をできないのか。

産業建設課長 北部ブロックで統一して豊丘だけ変えるわけにはいかない。ヒモで縛って出すようになってきているので縛っていただきたい。

要望 広域でも、飯田市でもガムテープでよろしいということになっている。北部衛生組合でぜひ検討してほしい。

今後の村づくりは

質問 今、地域づくりは大事な要素であり、どここの自治体の文書を見ても「協働」「住民参加」という言葉であふれているが、実際の政策立案過程は必ずしもそうなっていない。それをどう保障していくか。

村長 村づくり委員会にも低い報酬ではあるが、出してお願いしている。また他にも絶えず色々の活動に取り組んでいる、そういう人を増やして行く事。



現在使われているゴミ袋

質 心配される空中防除は

答 続けられるように県に要望する

壬 生 章 男

質問 この九月に入り、村内でもキノコ山の入札が行われ、入り札等も決まったようですがここ二年間のキノコの不作で、入札金額が大変下がっていると聞きました。

村内それぞれの区に納められるキノコ山の山代が大きく下がっており、区協議費が上がるのではと思われ、年々収穫量が減っていく一番大きな問題は松食い虫によるものと思われ

れます。松食い虫対策で殺虫剤散布のために使われている助成金がなくなつた場合、今後も村として空中防除をしていくのか。

村長 当村において村木である赤松を守るため従来の抜倒駆除に合わせて、平成十四年から空中防除も合わせて行い、十九年度の実績は散布面積が七〇ヘクタールです。とても補助なしで村単独で五千万、六千万のお金を投資することは難しい。何としても国、県で引き続いて続けてもらえるよう県にお願いしていく。

質問 実りの秋になり村内でカラスの被害も多いと聞



存続の声が多い空中防除

きました。一羽でも少なくするため猪鹿のように一万五千円でなくても一羽三百円、五百円でも良いので弾薬代位は何とかしてもらえないか。

村長 弾薬は買わなければならないので、その補助ということで、内部検討をしました。猟友会とも相談したいと思えます。

質 三遠南信道開通も見据えて

答 天竜川架橋実現を一步に

下 平 喜 隆

質問 平成十九年度三月末には、三遠南信道の長野県側の第一工区である中央道山本インターと天竜峡間が完成し供用開始となる。第二工区の上久堅、第三工区の矢筈までがそれぞれ五年、最後の青崩峠の六キロメートル区間も道路建設のための環境影響評価も既に始まっており、十五年から二十年以内にも、第二東名高速道引佐インターを起点とした静岡、愛知県側との開通も

夢ではなくなつた。飯田、下伊那、特に豊丘、喬木にとつては中央道開通以上のインパクトを、経済面、文化面など広い範囲に与える事は予想に難しくない。また、飯田、下伊那の文化は天竜川沿いに発展して来たため言葉使いを始め、色々な文化も浜松方面となじみ深い。三遠南信道開通を豊丘村活性のチャンスと位置付け、今から積極的な施策を展開していただきたい。村長 同感である。まずは竜東一貫道路先の天竜川架橋を実現し交通の流れを確保する。河野地区の広い田園地帯に工場誘致を実現する事によって、工場地域と伴に集約的な優良農業地域も保全することが出来、豊丘のおいしい果樹も売り込んでいける。開通を再生の出発点にしたい。



着々と工事進む三遠南信道（天竜峡付近）

質問 活力ある地域づくりに自由闊達な住民と働き甲斐のある職場が不可欠だ。未来の豊丘村の為に、産業振興、人口増に積極的に取り組んでいただきたい。

質 公正、公平感のある村税徴収を望む

答 収納率向上に一層の努力と対応

片 桐 義 憲

質問 住民の税負担を財源にして、住民福祉にどれだけの行政効果、経済効果をもたらしたのか、問われるのが決算である。住民が公正、公平感の抱ける村税徴収内容であることが、住民が一丸となつて協働の村づくりを進める大前提であると考えます。徴収率が前年対比で〇・二％下がり、滞納繰越分も約二百万円。又調定額に対して、五百万円の減額となっております。これらの理由と、年度途中で徴収率向上の努力をどの様にされたか伺います。不能欠損発生理由についても伺いたい。



公正な徴収が村づくりの基礎

村長 県下でもトップクラスの収納率で納税者の皆様に感謝を申し上げます。若干の収納率の低下や、不能欠損の発生は、納税者の皆様に申し訳なく思っています。今後もしっかりとした事が無い様努力していきます。

質問 督促件数は千件余、十一万円計上されているが、事務処理経費の増大にもつながる。今後の対策、住民への協力を、どうお願いしていくのか、お聞きしたい。又、口座振込みによる影響は無いのか。

総務課長 督促状による督促、電話での再告、預金等の差し押さえ、滞納者への折衝機会も増やし、滞納額の減少に努めている。不能欠損については、執行停止三年経過の上で三名。国外転出で住所不明。又、企業倒産、死亡で即時処理が一名となっている。口座振替により徴収率が低下したとは、現在認識していない。

# 委員会だより



## 務建 総産

### 豊丘村特定公共賃貸住宅 条例を原案通り可決

今定例会では総務産建委員会への付託は、条例制定一件 請願陳情が二件でした。

◎条例制定は、村が今年度山田地区へ建設を始める戸建賃貸住宅の運用に伴い必要となるものです。これは国の定める特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律が基になっています。

概要ですが入居資格として控除後の一ヶ月の所得二十万円以上六十万一千円以下、家族が同居、隣組への加入、家賃として月額六万円、敷金十八万円などを始めとし、目的、建設場所、戸数選考基準、費用負担、増改

築、契約、解約などを定めてあります。人口増を村の最重要課題と位置づける理事者にとつての、中平地区の住宅地造成に続く村営戸建賃貸住宅建設事業となります。入居者には厚遇な分、税金が投入されている現実があります。村として村民に理解の得られる説明責任を求める声も有りました。

また今後の運営上で不備や瑕疵が表れる事が予想されるので、村としてもしっかりと対応されたいなど意見が出されました。全員一致で可決致しました。

出を、遅れている地方道路整備の現状に鑑み、全員一致で議員発議としました。また村民より提出された「日本原燃(株)六ヶ所村再処理工場の本格稼働に反対し、その中止を求める意見書の提出を求める請願」につきましては使用済み核燃料再処理についての研究を深めるためのさらなる資料収集が必要と判断され、全会一致で継続審議となりました。

(総務産建委員長 下平喜隆)

◎長野県道路整備期成同盟会、下伊那地区会長、小木曾根羽村長より依頼され理事者からの請願となった、道路特定財源の一般財源化に反対する意見書の提



## 社会 社文

### 後期高齢者医療制度 改善の請願を採択

社会文教委に付託された請願は三件でした。

問題点としては、「別立ての診療報酬で医療内容が差別される」「保険料が国の政省令でほとんど決められ、すべての後期高齢者から徴収、さらに滞納者から保険証を取り上げる」「一人当たり医療費が増えなくても、

①高齢者の医療制度に関する請願……平成二十年度からスタートする「後期高齢者医療制度」について、多くの問題点を抱えており、その改善を求める意見書を国・県・広域連合へ提出さ

高齢者人口が増えるに従い保険料が上がっていく仕組みになっている」等です。

これらの問題点を改善することと共に、この医療保険へ加入する直前の七十〜七十四才の自己負担が現行一割から、来年四月より二割に引き上げられようとしていることに対しても、引上げの撤回を求めるものです。高齢者の医療負担増の見直しについては、現在国会でも議論されており成り行きが注目される所です。本請願は全会一致採択されました。

◎義務教育の少人数学級実現を求める請願……このことについて二件の請願が提出されました。一件は県知事へ、他の一件は国の関係行政庁へのものです。

長野県では現在、小学校四年生までは全額県費で、五・六年生は市町村の財政負担を求めて実施されています。国の現行基準は「四十人学級」であり、これを引き下げれば、県や市町村の財政負担も軽減されるわけです。二件共全会一致採択されました。



(社会文教委員長 唐澤啓六)

シリーズ「私、がんばっています」

皆様にお世話になった感謝の気持ちを、真心をもってお返ししたいと語る、伴野で骨格整体治療院を営む、平沢敏彦さんをお訪ねしました。

平成四年七月、日赤の献血推進長野県大会において、輸血を



受けた立場から、そのありがたみと、感謝の心を込めての体験

夏休みになると、街からやって来たお客さんを連れて、毎日のように虻川を歩いていきます。

大人も子どもも、自然のままの美しい景色や川の流れに感動し、豊丘村のファンになって帰ってゆきます。

私の一言

周知のように、虻川上流域の大きな砂防ダムが完成されようとしています。このダムは防災上、必要なものとして十分な議論をした上で建設されてい

豊丘村の恵まれた自然を大切に

戸中 井上時満

ダムが完成しても、現在のまま放水口を開いておき、

万が一の大雨の時に塞ぐようなシステムを作る事や、砂防ではなく、いくらかの水を貯め、村民の上水の一部として利用してゆくなど、防災と環境

両面の接点をもう一度村民で話し合い、知恵を出し合うことが出来ないでしょうか。

自然のままの虻川を守る事は緑と清流を誇る豊丘村のイメージアップにも繋がってゆくと思います。



発表をされました。

平沢さんは二才のとき、心臓に異常があることを伝えられ、

分五分という手術の決意をし、二十時間余をかけた手術は生命

当時の医学で手術もできなく、不治の病と告げられました。その後

力も手伝い成功を収めました。大手術のため、何人もの人から

繁となり、小学校入学後も、同級生と同一行動が取れなかつた

謝の気持ちは忘れない。そんな気持ち

りし悲しい思い出を語られました。しかし

た。しかし二親をはじめ、学校の先生、同級生、周囲の人々

から励ましや、付き添い等の支援を受けながら

援を受けながら少年期をすごされました。十九才の時、風邪が

きつかけとなり、病が悪化してしまいました。心室、心房にそ

れぞれ二、三秒の欠損があり、中隔欠損症、肺高血圧症と診断



難病を克服した平沢さん

編集後記

▼参院選が終わって二ヶ月が過ぎた、それ以前から閣僚や議員の発言が問題になった。

問題になってから取り消したり「真意」と違うと言いつたり。「広島・長崎に原爆を落としたことは……」久間発言のように、公の立場にある人の発言は重大である。人を傷つけることもある。我々地方議員も同様だ。十分に気をつけたいものである。

▼この夏の暑さは本当に異常だった。九月の気温も真夏日が十日以上になり、三十五度以上の猛暑日もあった。山間地域の鳥獣害被害もここ数年は異常で昨年一年で、鹿の捕獲だけで三百頭を超えた。これも地球温暖化が影響しているという。

冬を前に生まれたものが、冬を越せずに淘汰され、数が今まで維持されてきた。それが冬が暖かくなつて全部生き残るようになったため当然山に食料が足りなくなつたということがある。増えすぎた鹿に山の植林した木や草が食い尽くされているところもあるという。環境問題にも発展してくる。